

「柏市のこれから」にプラスをする視察!

委員会視察 de プラス



視察について、詳しくは視察報告のページへ

総務委員会

4月23日
～24日

女性消防吏員活躍の取り組み

全国トップクラスの女性消防吏員比率の高さを誇る海津市において、女性が消防現場で活躍できる環境整備の事例を学びました。

岐阜県
海津市

海津市消防本部では、平成7年に女性職員エリアの設置が行われ、仮眠室・更衣室・休憩室・ユニットバス・トイレ・洗面所等が整備されました。背景には、当時の消防長からの提案や女性労働基準規則の一部改正等があり、これらが相まって女性職員エリア設置の実現に至ったとのことでした。平成8年に初の女性消防吏員が2名誕生し、現在も5名が勤務しており、そのほとんどが結婚や育児休業を経験し、仕事と家事が両立できているそうです。今後は、女性職員エリア未設置の分署への対応や、女性消防吏員の職域拡大等について取り組んでいくとのことでした。



海津市消防局女性職員エリア入口



ココでも
先進事例を
学んできました
愛知県安城市
小学校区別地震防災
カルテ

市民環境委員会

4月24日
～25日

伊勢フットボールヴィレッジ

スポーツを生かしたまちづくりをより推進するため、スポーツ誘客による地域経済の活性化や市民の健康増進等を目的とした、伊勢市の取り組み事例を学びました。

三重県
伊勢市

伊勢フットボールヴィレッジは、天然芝1面、人工芝4面及びクラブハウス1棟の施設です。施設の整備費用は、14億8,000万円、そのうち、伊勢市が1億8,000万円、地元製菓会社が13億円を負担し、競技フィールド及びクラブハウスを整備した後に伊勢市に寄贈しました。整備した効果として、スポーツ誘客から生じる地域経済への波及効果は、29年度はスポーツ全体で約6億9,600万円、サッカー単体で約3億3,700万円となっており、利用が増加したことで、市全体の競技レベルの向上にもつながっています。今後は施設の利用の増加による効果が期待されます。



伊勢フットボールヴィレッジ



ココでも
先進事例を
学んできました
三重県松阪市
松阪市クリーンセンター
及び松阪新電力株式会社

教育民生委員会

4月18日
～19日

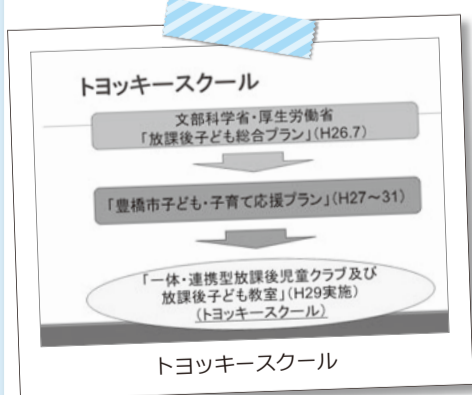
トヨッキースクール

就学児童が放課後等を安全・安心に過ごせることを目的とした、総合的な放課後対策である放課後子ども教室「トヨッキースクール」について学びました。

愛知県
豊橋市

トヨッキースクールは、総合的な放課後対策として、放課後児童クラブと連携した「一体・連携型放課後児童クラブ及び放課後子ども教室」として開設しました。小学校区単位で指導員とサポーター(ボランティア)を配置し、多彩な体験活動を通して子供たちの体験量をふやすことにより、「知・徳・体」の調和のとれた人間形成を図るとともに、地域の人材を活用しながら、地域ぐるみで子供を育てる風土を目指し、子供への豊かな体験を提供しています。

今後は、地域ごとの状況について情報収集をしながら、事業の拡大を目指していくとのことでした。



トヨッキースクール



ココでも
先進事例を
学んできました
愛知県岡崎市
動物行政推進計画

建設経済委員会

4月24日
～25日

豊田市駅前通り北地区市街地再開発事業

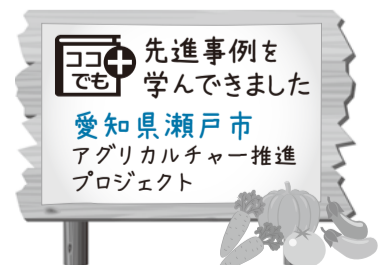
本市の商圏人口の減少が懸念される中、昼夜間人口の拡大、中心市街地の活性化を図る豊田市の取り組み事例を学びました。

愛知県
豊田市

豊田市の中心市街地は、愛知環状鉄道新豊田駅と名古屋鉄道豊田市駅の周辺です。このエリアは、店舗過剰状態であり、商業機能導入の限界を感じていました。そこで、市民アンケートなども募り、シネマコンプレックスを中心とした時間消費型商業施設、高齢者福祉施設、集合住宅などにより、昼夜間人口の拡大、中心市街地の活性化、交通環境及び都市防災機能の向上を図りました。高齢者福祉施設を取り入れた事例は、全国的にも少ないとのことでした。総事業費の約231億4,000万円のうち、約59%を国・県・市の補助金で賄っており、昼夜間人口の拡大にける豊田市の思いが感じられました。



豊田市駅前通り



ココでも
先進事例を
学んできました
愛知県瀬戸市
アグリカルチャー推進
プロジェクト